

にこにこ通心



令和2年2月 vol.98



之がお相続サポートとは
家系図作成サポートも行っております。
ご興味ある方はお気軽にご連絡ください。

家系図作成の旅

笑顔相続の道先案内人、相続コンサルタントの勝裕章です。

相続によって残された家族が揉めるのではなく、より家族の絆が強くなる「心の相続」のサポートを使命とします。

故人が持っていた財産を誰がどのように相続するか、これはとても大事なことです。

相続税がかかるのか否か。かかるとしたらいくらぐらいか？ これも知っておいた方が安心でしょう。

プラス「心の相続」を考える時、同時に向き合ってほしいことがあります。

それは、代々その家に伝わる教え・戒めといった家訓や

故人が生前大事にしてきた価値感も合わせて継承していくことです。

うーん、勝裕家に代々伝わる家訓とは何なのだろう？

そもそも自分の先祖、おじいちゃんおばあちゃんまでしか知らないなって。

よし！家系図を作ろう！と思い立ち両親に説明。許可をもらい調査開始。

父の故郷の輪島市役所、母の故郷の富来町(現志賀町役場)へ。

安政の時代まで6代遡ることができました。

遡る中で、若くして亡くなっている人がいたり、養子縁組の歴史もあり。

そして昭和25年、醤油姓から勝裕姓への改姓の事実もこの目で確認。

戸籍を眺めていると、その時代にタイムスリップしたかのような不思議な感覚になれます。

天保...大飢饉、安政...大獄、歴史の教科書じゃないか！(ほんの数代前にあつたのだと実感)

集まった戸籍を両親に見せながら、食後のひとときを過ごしました。

戸籍をたまた見ていた父がボソッとつぶやきました。

「そういえば... お父さんが生まれる前に、2番目に生まれた兄が生後間もなく亡くなるとんや」

兄が生きていればお父さんは生まれてなかつたかもしれんて聞いとるんや」

なんということか!! 父がいなければ当然僕も生まれていない?

奇跡的にいただいたこの命。笑顔で自分らしく過ごさないとな

母も「子供のころ、母親に連れられて小矢部まで墓参りに行、た。母と小さな子供達3人での電車の旅の楽しい思い出しか残ってなかったけど、こういうことやったんやね。調べてくれてありがとう。

家系図作成の過程で得たものは、子供の頃のことをり要かしく語る両親との心地よい時間でした。家系図が作成したらパネルに入れ、改めて家族で語る時間を作ろうと思う。

